

マキノ病院ニュース

第117号

— 令和3年6月1日発行 —

就任にあたりまして

看護部長代行 前田 紀久子

この春より、尾方恵前看護部長の後任として看護部長代行に就任いたしました。慣れない業務に追われ、あつという間に3か月ほどが過ぎてしまい遅ればせながらこの場を借りてご挨拶させていただきます。

これまでと少し立場が変わり、身に余る重責に身が引き締まる思いと緊張でいっぱいですが、マキノ病院看護部が掲げる『心に寄り添う看護』を大切に、前看護部長が築かれた教育体制を軸にしてスタッフと共に成長していけるよう精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

さて、昨年からの新型コロナウイルスの蔓延が一年以上続き今だ終息の兆しが見えない中、誰もが不安やストレスを抱えて暮

らしておられると思います。ラストレーションが溜まり、ステイホームどころか、外へ出たい衝動に駆られるのも当然のことかと思えます。しかしながら第4波の感染拡大の状況を見るときに、まだまだ予断を許しません。

当院でも一般住民の方のコロナワクチン接種が始まり、より一層の感染対策を徹底し安全に実施できるようにスタッフ一丸となって努めてまいります。面会制限であったり、外出の制限であったりと皆様にはご不便をおかけしておりますが、引き続き感染対策の徹底にご理解・ご協力頂きますようお願いいたします。“ウィズコロナ”から“ウィズストレス”、こころも長期戦になつてく

るとストレスとも上手に付き合っていくかなければなりません。近い将来コロナ禍を乗り越えた時にそこにいるのが今より少し成長した自分であるように毎日小さな目標を持ちながら奮闘しているところです。皆が大変なこんな時だからこそ笑顔を忘れず感謝の気持ちをもってこのコロナ禍を乗り越えたいと思っております。

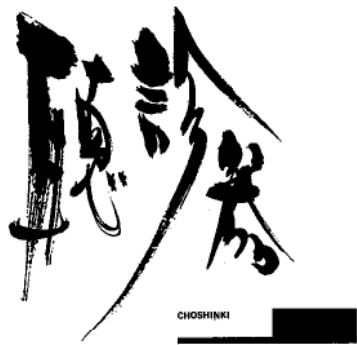
この厄介なコロナウイルス、爆発的感染が世界中で広まった昨年2020年は、ちょうどナイチンゲール生誕200年、看護の日制定30周年という記念の年であり、Nursing Now キャンペーン「看護の力で健康な社会を！」の世界的な活動強化年でもありました。残念ながら多くイベントは中止となりましたが、この激動の1年は看護の仕事が注目され、看護の役割や魅力を多くの方に知ってもらった大きなきっかけ

になったのではないのでしょうか。コロナの最前線で活躍されてきた看護師の姿は“大変だけれど自分たちも頑張らなければ”と、私たちにとても大きな励みになっています。

また、入院されて不安でいっぱいの方が少しでも安心できるように傍で声を掛けたり、少しでも楽になるよう身体を整えたりできるのは看護師ならではの、専門職としての仕事の使命ややりがいを感じて改めて認識することになりました。

これからもマキノ病院にお越しただく皆様に寄り添い安心していただける看護が提供できるように看護部一同努力してまいります。

ドクターコーナー



歯科金属（いわゆる銀歯）が原因となつて引き起こされるアレルギー症状があるのをご存じでしょうか？

歯科の金属アレルギーとは、唾液などによって金属がイオンとなつて溶出し、それが吸収されて起こるとされています。

歯科で使用される金属は直接口の中で唾液に触れているため、金属

アレルギー反応がしやすい状態にあります。一般によく用いられる保険の銀歯などは「金銀パラジウム合金」というもので、配合は、金12%、パラジウム20%がJIS規格で決められており、それ以外に銀が約49%、銅が約19%、インジウムなど数%を

含む合金があります。そのため粗悪な金属などは使用されていません。さらに大幅に金の含有量を増加させた（金の含有量12%以上）保険が適用されない合金などは、金属アレルギーが起きにくい成分が多く、歯と同じようにすり減るため、歯に優し

歯科金属と皮膚のアレルギー症状について

皮膚科 片岡 照貴

い金属として利用されています。しかし口腔内金属である以上、どんな金属を使用しても、イオン化した金属の影響で、人によっては、アレルギー反応を起こすこともありま

す。歯科金属などで起こるアレルギー

で、有名なものに「掌蹠膿疱症（しやうてきぼうぼうしょう）」という病気があります。口の中から入り込んだ金属イオンが体内に吸収されて、タンパク質と結合、変質してアレルギーとなり、アレルギー反応を起こします。手掌・足底にブツブ

ツができて破れてから、ガサガサした状態になります。難治性でこれまで原因がはつきりしませんでしたが、手足と全く異なる場所である口の中の金属が原因の一つとして考えられるようになり、口の中から金属を排除することで完治しないまでも症状が軽減することも増えています。

治療としては、原因除去療法が基本となります。これはアレルギー反応を起こす可能性がある金属を取り外し、反応を起こさないセラミックや樹脂などの素材に入れ換えを行うことです。最近では強度のあるジルコニア素材の登場で、ほとんどの被せ物やブリッジなどを強度的にも問題なく入れ替えることができるようになってます。歯の金属を除去した後、治療後に原症状がどのように変化したかを観察することになり、金属を取り除いてすぐ症状が改善するということよりも、良くなったり悪くなったりを繰り返しながら症状が軽減することをお待ちが多いです。気になる症状がある方は皮膚科へご相談ください。

診療科のご案内
 内科・外科・小児科・整形外科・皮膚科・神経内科・総合診療科
 肛門外科・泌尿器科・リハビリテーション科・リウマチ科・放射線科
 【救急指定・労災指定】【人間ドック・各種健診】

— 診療受付時間 —
 平日 8:30 ~ 12:00 16:40 ~ 19:00 土曜日 8:30 ~ 12:00
 滋賀県高島市マキノ町新保 1097 TEL 0740-27-0099
 ホームページ <http://www.makino-hosp.or.jp>

